

# そよげ風

山口市立小郡小学校

No.27 学校だより

平成24年2月10日

## 自慢：子供点描Ⅰ・・・“静”と“動”

朝の時間（8：10～8：30）には曜日によっていろいろな活動を仕組んでいます。中でも水曜日は“音読”の時間。朝から朗々とした声が全校に響き渡ります。一方、金曜日は読書の時間。全校をあげて読書に取り組みます。全校でするので例外はなし。事務室も保健室ももちろん職員室・校長室でも“読書”を行います。廊下を歩く者もいない静かな時を学校全体で共有します。

中でも嬉しいのは図書ボランティアの保護者の方が読み聞かせを学年ごとに行ってくださり、それに聞き入る子供たちの姿です。6年生の子供たちも聞き入り静寂の時は流れます。“動”と“静”のある学校はすてきです。

## 自慢：子供点描Ⅱ・・・ほほえましい光景

私の仕事の一つに、給食の“検食”と言うのがあります。今日の給食に異物が入っていないか、味や量は適当かなどを子供たちが食べる前に言うならば“毒味”をするのです。ですから4校時の終わり頃には校長室で一人で給食をいただきます。

1月のある日、検食をしておりますと、校長室のガラス障子の向こうで体育の時間にサッカーをする高学年の姿がありました。女子がボールをキープして一人でドリブルしながらゴールへ向かっています（ゴールは校長室側にありますのであたかも私の方へ向かって走って来るようです）。シュートをしようとしたその瞬間、どうしたことか前のめりに転んでしまいました。併走する者はいませんでしたので一人相撲といったところです。どう決着がつくのかと興味津々で食事の手を止め、見入りました。

女子はしばらく立ち上がりません。すると三人の女の子が走り寄って立ち上がらせ、体操着の泥を払ってやっています。幸い怪我はないようです。顔をのぞき込んで優しく声を掛けているようでもあります。一人の女の子は背中を優しくなでています。転んだ子供はようやく平常心を取り戻したのか動き始めました。ゲーム再開かと思いきや転んだ女の子の足下にボールが運ばれてきました。そこからシュート。ゴールしたかどうかは障子の陰になって見えませんでした。ゲームは再開したようです。

本来ならゴールキックのはず、サッカーに今のようなルールがあったかは疑わしいのですが、臨機応変に自分たちで仲良くゲームを作り上げていく姿から、心優しい人として育てている様子を垣間見た感じがして嬉しくなりました。

一人で仕事として食べる“検食”の時間がどうかすると寂しくもありますが、この日の“検食”は心嬉しく、ことのほか美味しい昼食の時間となりました。

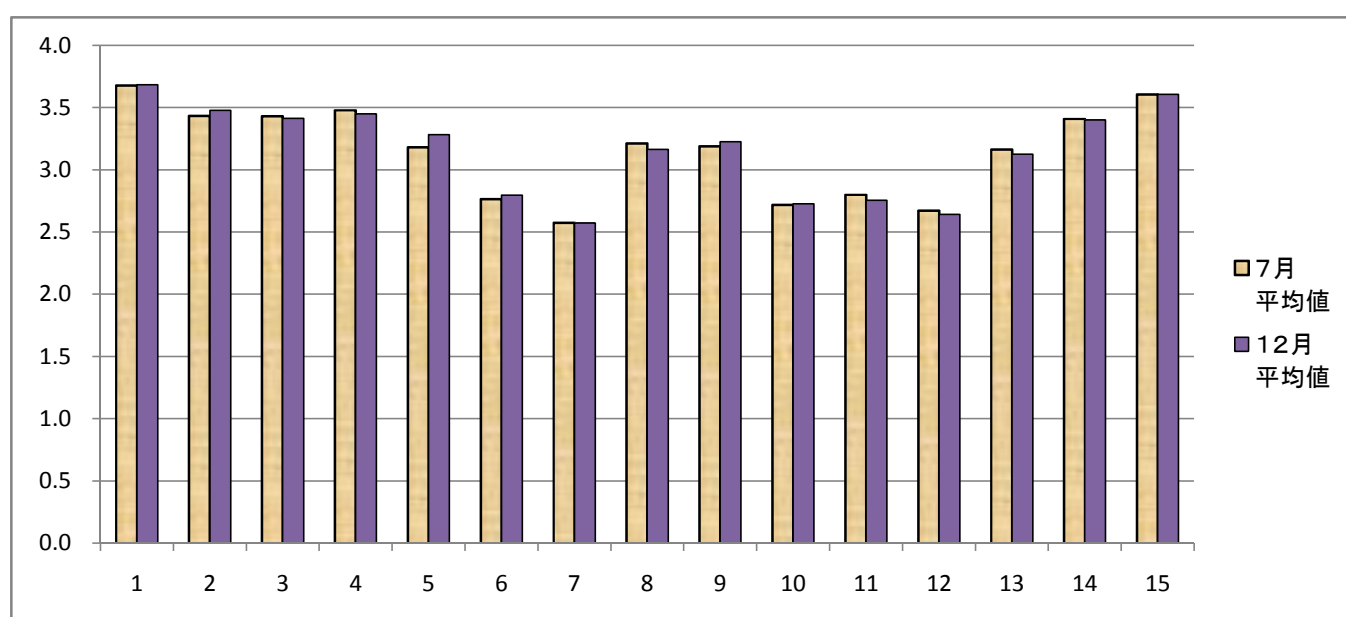
校長 上田保明

## 「学校評価」保護者アンケート結果（表とグラフ）

保護者の皆様には12月に行いました「よりよい学校づくりのためのアンケート」へのご協力ありがとうございました。443枚(回収率84%)ご回答いただきましたアンケートの集計結果についてお知らせいたします。

番号	学校評価設問	7月 平均値	12月 平均値
1	子供は、学校に楽しく通っている。	3.7	3.7
2	学校（先生）は子供に学力を付けるために、わかりやすい授業に努めている。	3.4	3.5
3	学校（先生）は魅力ある（子供が行きたくなる）学校づくりに努めている。	3.4	3.4
4	学校（学級）は安心できる場所である。	3.5	3.4
5	子供は、家で学校（学級）の話をよくする。	3.2	3.3
6	子供は、気持ちのよいあいさつや返事ができている。	2.8	2.8
7	子供は、きれいな言葉を使っている。	2.6	2.6
8	子供に、音読の力が付いてきている。	3.2	3.2
9	子供に、漢字・計算の力が付いてきている。	3.2	3.2
10	子供は、すすんでお手伝い等をしている。	2.7	2.7
11	子供は、本をよく読んでいる。	2.8	2.8
12	子供は、めあて（目標）をもって学校生活を送っている。	2.7	2.6
13	学校は、子供や保護者の意見を聞き、悩みや困ったことについての相談体制ができている。	3.2	3.1
14	学校や学年、学級だより等で、家庭へ情報が積極的に提供されている。	3.4	3.4
15	子供たちが校長室で詩の暗唱をする「校長室暗唱」は続けるべきだ。	3.6	3.6

※ 下の表の「平均値」とは、「そう思う」を4点とし、「ややそう思う」を3点、「あまり思わない」を2点、「思わない」を1点として計算した数値です。



# ～学校評価保護者アンケート～

## －考察と課題解決へのヒント－

### 【7月・12月ともにポイントが高かった項目】

「設問1 子供は学校に楽しく通っている」

「設問3 学校は魅力ある（子供が行きたくなる）学校づくりに努めている」

「学校が楽しい」ということは、学校の中でも一日の大半を過ごす「学級」が楽しいということに他ならないと思います。学級の中では、授業を受けることが中心ですので、授業がわかる、授業が楽しいということがまず大切なことです。さらに、学校生活の中には、朝の会や帰りの会、給食や昼休み、掃除など様々な活動があります。様々な活動の中には、人とかかわりが生まれてきます。人とうまくかかわっていけるときは、楽しい活動となりますが、そうでないときには、その逆の活動となります。そのような意味で人との良い人間関係（思いやりの心・忍耐力等）をつくっていくことがとても重要になります。

楽しい学校生活を送れるよう教職員一同、すべては子供たちのために努力しているところです。

「設問15 子供たちが 詩の暗唱をする校長室暗唱は続けるべきだ」

中間時間や昼休みに子供たちは、校長室に行き、暗唱して来た詩を朗読します。緊張の一瞬です。日本語の美しい言葉そのものを繰り返し心に刻みつけてこそ、心の底に深く根ざした真に生きた言葉として育っていくものです。反復徹底で身につけたものは長く忘れないだけでなく、後に、その意味が深い次元で理解され、感性、創造性につながる真の知恵となっていくものです。

子供たちの生活の中に暗唱が根付きつつあります。

「設問2 わかりやすい授業に努めている」

昨秋の第50回全国国語科教育研究大会に向けて、全校体制で全教員が授業づくりに取り組んできた成果が表れたのではないかと考えています。子供にとって「楽しい授業・分かる授業」を重視しています。

「設問14 学校や学年、学級だより等で、家庭へ情報が積極的に提供されている」

情報の発信と受信が必要です。学校で困っていることや協力していただきたいことを伝えていきます。また、良い情報も伝達し、ともに喜び合います。一喜一憂を共有するとき、一体感（チーム小郡小）が生まれてきます。今後とも共有できる情報と時間を多くもちたいと思います。

### 今後ポイントを高めていきたい項目】

「設問12 子供は、めあて（目標）をもって学校生活を送っている」

めあてをもって生活することは、人間の主体性を育てたり、自己啓発を行ったりする上で、大切です。本校では、学期毎に子供一人ひとりにめあてをもたせています。各始業式では、代表児童による“めあて”の発表があり、終業式ではめあての反省を発表させ、めあて意識を高めるよう努力しています。保護者のみなさんの評価が低いということは、めあて意識が子供たちにしっかりと身に付いていないのでしょうか。さらに工夫したいと思います。

「設問7 子供はきれいな言葉を使っている」

ご承知のとおり、本校では全児童に、すばらしい多くの詩が掲載されている「音読集」を与えています。朝の活動の時間、週1回は音読の時間にして、「音読集」を活用した音読を行っています。音読する中で子供たちは美しい日本語を音を通して学んでいます。

また、本校は国語の全国大会を行いましたように、「国語科」の授業研究を行い、「国語」の授業力の向上に取り組んでいます。全校をあげて「ことば」を大切に教育に取り組んでいます。学校評価でも厳しい評価をいただきましたように“美しいことばのつかいで”を育てることは容易ではありません。今後も地道に“音読”“暗唱”“音読大会”など、ことばを重視した教育活動を展開しますので、各ご家庭におかれましても、宿題で音読する子供さんに言葉かけをしていただいたり、間違っただけの言葉遣いがあるときなど、適切に声かけをしたりしていただきますようお願いいたします。

「設問11 子供は、本をよく読んでいる」

保護者の図書ボランティアによる読み聞かせや図書カードの工夫、朝読の時間の設定などで若干子供たちの読書冊数が増えました。読書の効用は誰もが認めるところです。学校としては、もっともっと子供たちが本を読んで読書好きになってほしいと考えています。時には親子で“読書”の時間をつくってみられるのも、子供へのよい刺激になると思われませんが・

## 2月の行事予定

日	曜	行 事 等
1	水	給食集金日
3	金	小郡中学校進学説明会・6年懇談会(本校)
6	月	1年昔の遊び大会 ピアノコンサート(1・2・3年)
7	火	全校朝会 3年七輪体験
8	水	見守り隊への感謝の会
11	土	建国記念の日
13	月	委員会活動 ALT来校
16	木	学年集金日 第2回学校保健委員会
17	金	地下道点検(下校時)
20	月	ALT来校
21	火	入学児童就学説明会(受付7:40~8:00)
24	金	参観日(全校) 学級懇談会(6年除く)
26	日	吹奏楽部スプリングコンサート
27	月	ALT来校 クラブ活動
28	火	ALT来校

## 3月の行事予定

日	曜	行 事 等
1	木	全校計算大会 6年生を送る会
2	金	6年遠足
3	土	もっばら小郡
5	月	集金日(給食・学年) ALT来校
8	木	ALT来校 全校漢字大会
13	火	ALT来校
16	金	卒業証書授与式
20	火	春分の日
22	木	小郡中学校仮入学(9:45)
26	月	修了式
27	火	学年末・学年始め休業開始
30	金	離任式 お別れ式

## 4月の行事予定

9	月	始業式
10	火	入学式 給食(2~6年)

## 人権教育講演参観日(1月20日<金>)



昨秋本校で開催いたしました第50回全国国語科教育研究大会において指導者としてピアノコンサートや公開授業をしてくださいましたピアニストの福田直樹先生をお招きしての教育講演会(ピアノコンサート)をPTA主催で開催いたしました。たくさんのご示唆を賜りましたが、その中から一部を福田直樹さんの言葉でご紹介させていただきます。

椅子で窓ガラスを全部割ってしまったたり、一旦暴れ出したら大人が3人はいないと押さえられない、家族ともいっしょに暮らすことのできないような子どもたち対象のコンサートを開くことがあります、ピアノはそんな彼らに魔法

をかけることができるのです。

1時間彼らが夢の中に入ってしまう魔法。それは、バッハの音楽なんです。演奏を始めてからしばらくの間は子どもたちはうろろう歩いたりしています。時には、4~5曲ほどバッハを続けます。バッハの音楽は「祈りの音楽」。特定の宗教を超えて、深いところで「祈り」の声を聞かせてくれます。人々が得ることの難しい「ニュートラル」な時間と空間を与えてくれます。前の時間を引きずらない、気持ちを鎮め次のステップへ進む音の空間。ところで、バッハの音楽は普通の子どもたちにも効果的です。気持ちの切り替えの難しい子どもがいるようだったら、朝の時間10分ほど「バッハを聞きながら読書」。それだけで効果はありますよ。

私は常々「ベートーヴェンの音楽は、うつ防止に効果がありますよ」とお話しています。うつは、自分が気づかないうちにスパイラルの闇を落ちていくと言われていています。その闇を打ち破るのがベートーヴェンの音楽。「限りない広がりの世界」があり、感性を高め、視野を広げてくれます。それは心と体のバランスを保ち、五感と知性のバランスをとることにもつながっています。

聴き応えのあるモーツァルト、ショパンの調べの数々……。

ピアノと語りで、いやしの世界へ誘(いざな)われた1時間半でした。

このような貴重な時間と空間をありがとうございましたPTA生活教養部の皆様に感謝申し上げます。事前準備と当日の運営お疲れ様でした。そしてありがとうございました。

### <冬の花パンジーに思う>

前庭や玄関に、冬の花パンジーが元気よく咲いています。子どもたちが水を時々やってくれるお陰で花も命をつないでいます。

ところで、花には「花言葉」があるということはご存じだと思います。パンジーの花言葉は、「私を想ってください、愛」です。パンジーは「私を想ってください」と言いながら冬の寒さに耐えているのかもしれない。水が与えられたときにどんなにか喜んでいられるのかもしれない。

さて1月10日に興進小学校からうさぎを3匹いただきました。うさぎもきっと同じ心境だろうと思います。花やウサギを大切にすることは、人や物を大切にすることに繋がります。花には話し言葉も書き言葉もありますが、その表情で今の状態を伝えてくれます。

命あるものをいとおしむ心を小さい頃から育てていきたいと思っています。

文責 教頭(水野 昭)